公開授業 I 1年1組

## 第1学年国語科学習指導案

公開授業Ⅱ 1年2組

児 童 1年1組 男子13名 女子11名 計24名

1年2組 男子15名 女子10名 計25名

指導者 1年1組 髙橋 智子

1年2組 佐々木 健

**1 単元名** かいてあることをくらべながらよみ、じどう車ブックをつくろう

**学習材名** 中心学習材 じどう車くらべ (光村図書1年)

補助学習材 はたらく自動車ずかん(高島鎮雄監修・成美堂出版)

#### 2 児童と単元について

#### (1)児童について

本学年の児童が、1 学期の「くちばし」の学習において学習した読みの方法は次の三つである。 付けたい力「書かれている事柄のおおよそをとらえる」(読むことイ)に関しては、「問いの文と 答えの文を関連付けて読む」、「さし絵や写真と文章を照応して読む」という二つの方法、付けた い力「順序をとらえながら読む」(読むことイ)に関しては、「事柄の配列に気を付けて読む」と いう方法である。言語活動としては、「くちばし」で学習した文型をもとに、自分の選んだ動物を 家の人に紹介する「どうぶつクイズ」を作る活動を行った。

児童は、この活動を通して、文末に気を付けて問いの文を見つけたり、問いの文に対応している答えの文を見つけたりすることができるようになってきている。また、写真やさし絵を見ながら相手に伝わるような言葉で書くことの大切さについても理解することができた。広める段階では、「くちばし」で学習した文型を基に、自分で選んだ動物を紹介する「どうぶつクイズ」を作る学習を行い、家の人からクイズについての感想をもらった。家の人からの感想を励みに、他の動物について書かれた本を進んで読もうとする子が多くなり、学習したことを読書への意欲につなげていくことができたと考える。

読書については、以前より読めるようになった文字が増えたことから、物語や図鑑など様々なジャンルの本を楽しんで読むようになってきており、読書の幅が広がってきている。

#### (2)単元と学習材について

本単元「かいてあることをくらべながらよみ、じどう車ブックをつくろう」では、学習指導要領・読むことイに関する「書かれている事柄のおおよそをとらえる力」、「順序をとらえながら読む力」を付けるために、学習した文型を生かしてじどう車ブックを作り、6年生に読んでもらうという活動を行う。

本学習材「じどう車くらべ」は、児童にとって身近な乗り物である自動車を取り上げた説明的な文章である。本教材は、4つのまとまりからなり、第1のまとまりが話題と問題提示、第2~4のまとまりが問題に対する説明となっている。「どんなしごとをしていますか」「そのために、どんなつくりになっていますか」という問いが2つあるため、第2~4のまとまりは問いに対応して二段落に分けて書かれているなど明確な文章構成になっている。また、「そのために」という接続語が「しごと」と「つくり」をつなぐ役割を果たしている。さらに、3種類のじどう車について、「しごと」と「つくり」が同じ順序で繰り返し説明されている。そのため、「しごと」と「つくり」の因果関係に気付き、今まで何気なく見ていた自動車に対する新しい見方を知ることができると考える。本学習材は、児童に説明文を読む楽しさを味わわせると同時に、自分でも調べたり表現したりする学習活動に適した学習材であると思われる。

#### (3)単元指導計画の工夫について

#### ア付けたい力と読みの方法

【付けたい力】 ○読みの方法

#### 【書かれている事柄のおおよそをとらえる】

- ○問いの文と答えの文を関連付けて読む。
  - ・問いの文と答えの文のつながり「どんなしごと」→「~なしごと」、「どんなつくり」→「~なつくり」
  - ・主語と述語のつながり「~は、~しています。」、「~が~あります。」「~が~ついています。」

「問いの文と答えの文を関連付けて読む」については、深める段階において指導をする。第3時で、問いや答えがどこに書かれているのかを見つけさせる。問いについては、「くちばし」の学習から、文末表現に着目して見つけさせる。さらに、問いを見つけていく中で、問いが二つあることに気付かせ、その内容を確かめる活動を行う。そして、問いと答えが対応していなければならないことを想起させ、答えに書いてある内容について見通しをもたせる。その後、「どんなしごと」に対応して「~なしごと」、「どんなつくり」に対応して「~なつくり」となっていることを確かめる。見付けた「しごと」と「つくり」は、児童が視覚的にも分かりやすいように色分けをして線で囲ませる。この活動は、次の時間からの読み取りと深くかかわってくるので、大切に扱いたい。

また、それぞれの事例で、どんな「しごと」や「つくり」になっているかを読み取る際には、主語と述語のつながりにも目を向けさせるようにする。そうすることで、「つくり」についての述語はそれぞれの車で違う表現になっているが、どれも主語にあった述語で表現されていることをつかませていく。主語と述語のつながりを意識することで、自分が説明文を書く際にも、主語と述語のねじれがない文を書くことができるであろうと考える。

広める段階の初期段階においては、「しごと」と「つくり」について箇条書きにしたものを与え、それを自力で文章に完成させていくという活動を取り入れる。そのために、深める段階で事例を読み取っていく際に、「しごと」と「つくり」の書き方の違いをつかませるために色を変えてサイドラインを引かせたり、「しごと」と「つくり」について文章と対応させたりしながら、主語と述語がつながった表現になっていることをとらえさせる。

#### 【順序をとらえながら読む】

- ○接続語に注意して読む。(文章と文章をつなぐ言葉という意味において)
- ・「そのために」

読みの方法「接続語に注意して読む。」については、深める段階で指導する。はじめに、問いの文を見付け、問いが2つあることを確かめる。次に、その2つの問いは「そのために」という言葉でつながっていることに気付かせていく。「そのために」という接続語は「しごと」と「つくり」をつなぐ大切なものである。そこで、「そのしごとをするために」と言葉を補うことで「そのために」の使い方をとらえさせ、自分でも文を書くときに使っていくことができるようにさせていきたい。「そのために」に気を付けて3つの事例を読むことで、問いと同じように、「そのために」の前には「しごと」、後ろには「つくり」が書かれていることをとらえさせていくことができると考える。

#### イ言語活動

「事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと」

様式:説明文「じどう車ブック」

字数:1文30~40字程度のものを3文 要素:じどう車の名前、「しごと」「つくり」

目的:自分が選んだじどう車について「しごと」と「つくり」を紹介する。

相手:6年生

広める段階で、分かりやすい説明文を書くために、深める段階で学習した答えの書き方(「しごと」と「つくり」の関係)に気を付けて書くこと、つなぎ言葉「そのために」を入れて書くことを意識させながら取り組ませていく。作った「じどう車ブック」は、6年生に読んでもらい、学習した観点に沿って感想を書いてもらう。6年生に読んでもらう前には、学級の友達とも読み合い交流する。友達が選んだ車について、「自分もその車について読んでみたい」、「他にはどんな車があるのか知りたい」などという感想をもつことが予想されるので、そのことを新たな読書の楽しみを広げることにつなげていきたい。

#### ウ見通す場と振り返りの場

単元の見通す段階では、「かいてあることをくらべながらよみ、じどう車ブックをつくろう」という単元名を示す。くらべるとはどういうことかを示し、学習していくことの見通しをもたせる。また、ゴールとなる言語活動では、「じどう車ブック」を作ることを伝えるとともに、完成したものを提示し、具体的な姿をとらえさせていく。さらに、1学期に工事車両を一緒に見学・体験した6年生に読んでもらうことを伝えれば、さらに意欲が高まると考える。

学習の振り返りは、まとめる段階で行う。完成した「じどう車ブック」を6年生に読んでもらい、 学習した観点に沿って説明が書かれているかを評価してもらう。そして、「こんな自動車もあるんだね。」「~の仕事のために、こういう作りになっているんだね。初めて知ったよ。」などの感想をもらうことで、次の学習への意欲付けをはかることができると考える。また、学級の友達と書いたものを読み合い、交流することで、自分でよくできたところや難しかったところなどを思い返し、学習の成果も確かめさせる。

#### 3 単元の目標と評価規準

——————————————————————————————————————				
	単元の目標	評価規準		
国語への	○知りたいことや興味をもったこと	<ul><li>じどう車ブックを作るために、じど</li></ul>		
関心・意欲・態度	に関する情報を得るために、じどう	う車について書かれた文章を進んで読		
	車について説明した本や文章を選ん	んだり、紹介したい自動車についての		
	で読もうとすることができる。	情報を集めたりしようとしている。		
読む能力	◎説明されている「しごと」と「つ	<ul><li>いろいろなじどう車の「しごと」と</li></ul>		
	くり」の関係や文章構成上の順序に	「つくり」の関係や文章構成上の順序		
	ついて確かめながら、内容の大体を	について、さし絵と文章のつながりを		
	読むことができる。	を確かめながら読んでいる。		
		<1>		
言語についての	○主語と述語がねじれないようにつ	・主語と述語を整えて、敬体で簡単な		
知識・理解・技能	ながりを意識して文を書くことがで	文を書いている。		
	きる。	<イ (カ) >		

## 4 単元の指導計画と評価規準(全10時間)

			年(王10時間)			
段 階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	補助学習材
見通す	1 2組本時	単元のゴールの姿を 知り、既習の説明文の 言語活動を想起する ことを通して、「じど う車ブック」を作るこ とに関心をもつ。				
	2	全文を読み、単元名や 題名から、バスやじょ うよう車、トラックに ついて書かれている ということをとらえ る。 新出漢字や初出の言 葉の学習をする。	を作るために、バス やじょうよう車、ト ラック、クレーン車		分からない言葉に ついて、辞書を利 用し調べている。 (観察)	
深める	3 1組本時	既習の説明文の書き 方と比較しながら、問いと答えの文を見つける。読み取りの際に 着目していく「しごと」と「つくり」の文 の並び方をとらえる。		問いと答えの文が あり、バスやじょ うよう車、トラッ ク、クレーン車の 答えが「しごと」 「そのために」「つ くり」の並びで書 かれていることが 分かる。 (観察・シート)		
	4	バスやじょうよう車 は、人を乗せて運ぶ 「しごと」に合った 「つくり」になってい ること、トラックは、 荷物を運ぶ「しごと」 に合った「つくり」に なっていることをと らえる。	「しごと」と「つく り」について進んで 読み取ろうとしてい る。	車とトラックの 「しごと」と「つ		

	5	クレーン車について、 バスやじょうよう車、 トラックのときと比 べながら、どんな「し ごと」や「つくり」に なっているかをとら える。		クレーン車につい て、バスやじょう よう車、トラック で学習したときの 書き方を考にし ながら「しごと」 「つくり」の関係 を確かめ、自力で シートに書いてい る。 (観察・シート)		
広める	6	救急車について、補助 学習材を使い、「しご と」と「つくり」の文 を自力で完成させる。		今まで学習した文 章表現をふり返り ながら、救急車に ついて、「しごと」 と「つくり」の文 を自分で書いてい る。 (観察・シート)		救急車に ついれた文 章
	7		_	と」と「つくり」 について説明する 文を書いている。		はしご車 について 書かれた 文章
	8 . 9	自分で決めた自動車 について、絵と箇条書 きに書かれたものを 基に「しごと」と「つ くり」を対応させなが ら説明文を書く。学級 で発表し合い友達と 交流する。		くり」を対応させ	, , , , , , , , , ,	はたらく 自動車ず かん
まとめる	10	単元の振り返りをする。じどう車ブックを 6年生に読んでもらい、学習の成果を確か める。		学習を振り返り、 よくできたところ や難しかったとこ ろなどを確かめて いる。 (発言・シート)		

#### 1年1組本時

#### 5 本時の指導 (3/10)

## (1) 本時の目標

問いと答えの文があり、それぞれのじどう車についての答えの書かれ方が、「しごと」「そのために」「つくり」の並びになっていることが分かる。

#### (2) 本時の評価の観点と評価規準

評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への
観点			手立て
読む能力	Bに加えて	問いと答えの文があ	色分けされた板書をも
	問いと対応して答えが	り、バスやじょうよう	とにふり返らせ、どの
	書かれていることに気	車、トラック、クレー	車にも「しごと」と「つ
	づくことができる。	ン車の答えが、それぞ	くり」が書かれている
	例)どの車の答えも、「しご	れ「しごと」「そのため	ことに気づかせる。
	と」「そのために」「つくり」の	に」「つくり」の並びで	
	並びで書かれている。問い	書かれていることが分	
	の文も「しごと」「そのため	かる。	
	に」「つくり」の並びで書かれ	例)どの車の答えも、「しご	
	ている。	と」「そのために」「つくり」の	
		並びで書かれている。	

#### (3)展開

段	学習活動	教師の支援
階	○発問 ・期待する児童の反応	学習内容   ◎評価 ・留意事項
見	1 単元のねらいを確認し、前時の学習を想起す	<ul><li>6年生に読んでもらう「じどう車ブッ</li></ul>
通	る。	ク」を作るために、バスやじょうよう
す		車、トラック、クレーン車の文の書き
7		方を学習していくことを確かめる。
分	2 学習課題を確認する。	
	といやこたえのぶんのかかれかたの	
	ひみつをみつけよう。	
	3 読みの視点をもち、本時の学習の見通しをも	
	つ。	
	○問いや答えの文はどう書かれているでしょう	・既習の説明文の問いや答えがどのよう
	か。書いてあることに気を付けて読んでいきま	に書かれていたかを掲示資料で振り
	しょう。	返り、本文も同じように書かれている
	・問いの文…文のおわり	であろうという見通しをもたせる。
	・答えの文…聞いていること	
深	4 学習場面を確認し、学習課題を解決する。	
め	(1) 1つ目のまとまりを読み、2つの問いの文	問いや答えの文の並びをとらえること
る	を見つける。	
28	○問いの文はどれですか。問いの文に線を引き	・問いの文だと思うところに線を引かせ
分	ましょう。	る。

- ・それぞれのじどう車は、どんなしごとをして |・なかなか見つけられない場合には、掲 いますか。
- ・そのために、どんなつくりになっていますか。

- ○今までの説明文の問いと同じですか。
- (2) 1つ目の問いの答えを見つける。
- ○「どんなしごとをしていますか。」の答えの文 を見つけて、線を引きましょう。
- 人をのせてはこぶしごとをしています。
- ・にもつをはこぶしごとをしています。
- ・おもいものをつりあげるしごとをしています。
- (3) 2つ目の問いの答えを見つける。
- ○「そのために、どんなつくりになっています |・線を引く様子を見て、なかなか引けな か。」の答えの文を見つけて線を引きましょう。 (バスやじょうよう車)
  - ・ざせきのところが~つくってあります。
  - ・そとのけしきが~あります。

#### (トラック)

- ・うんてんせきのほかは~なっています。
- ・おもいにもつを~ついています。

#### (クレーン車)

- ・じょうぶなうでが~つくってあります。
- ・車たいが~ついています。
- ○どうして、そこに引いたのですか。
  - 人をのせてはこぶしごとのためだから。
  - ・ものをはこぶしごとのためだから。
  - ・おもいものをつりあげてはこぶしごとのた めだから。
- ○どの車のつくりも見つけられましたね。青で 囲みましょう。

- 示資料から既習の問いの文を想起さ せ、文末がたずねる言い方になってい たことを確かめる。
- 「していますか。」「なっていますか。」 という文末に着目させながら、サイド ラインを引かせる。自分の考えを残す ため、鉛筆で引かせた後、みんなで確 認して赤と青で囲ませる。1つ目の問 い…赤、2つ目の問い…青
- ・既習の説明文の問いを振り返り、本時 の2つの問いも同じように全体にか かる問いであることをとらえさせる。
- ・線を引いたわけをたずねることによ り、「しごと」という言葉に着目して 探すとよいことを確認し、赤で囲ませ る。
- いようであれば、1台ずつ区切って探 させる。

- ・線を引いたわけをたずねることで、「し ごと」のための「つくり」が書かれて いることをとらえさせる。
- 「そのために」という言葉に着目して 見つけたという発言が出たら、「その ために」が「しごと」と「つくり」を つなぐ大事な言葉であることをおさ え、線で囲ませる。
- バスやじょうよう車、トラック、クレ ーン車のつくりをみんなで確認し、青 で囲ませる。

#### (4) 文章の並びを確認する。

- ○3つの車の答えは、どういう並びで書かれて いましたか。
- ・どの車も、「しごと」の次に「そのために」、 そして「つくり」が書いてある。
- ○なぜ、「しごと」「そのために」「つくり」の並 びなのでしょう。
- 問いの文も「しごと」「そのために」「つくり」 の並びで聞いているから。

- ・学習シートを縦に見ることで、答えの 書かれ方の共通点に気づかせる。
- ・「しごと」(赤)「つくり」(青)となっ ていることから、「そのために」を中 心にして、前に「しごと」、後に「つ くり」の並びになっていることをとら えさせる。
- わけをたずねることで、問いの文の書 き方にも目を向けさせ、問いに対応し て答えも同じように「しごと」「その ために」「つくり」の並びで書かれて いることに気づかせる。

#### 5 学習したことについてまとめる。

○今日は、問いや答えの文の答えの書かれ方の ひみつを見つけました。どう書かれていたか ふり返りましょう。

- ○今日みつけたひみつを使って書いていけば、自 分でもじどう車ブックが書けそうですね。
- 6 次時の学習について知る。 ○次は、「バスやじょうよう車」の「しごと」と ・自分で選んだ車について、じどう車ブ 「つくり」がどのように書かれているかを見て いきましょう。

- どの車も「しごと」「そのために」「つ くり」という並びになっていることを 板書をもとにふり返らせる。
- ◎問いと答えの文があり、バスやじょう よう車、トラック、クレーン車の答え が、それぞれ「しごと」「そのために」 「つくり」の並びで書かれていること が分かったか。(観察・シート)
- ・今日、学習したことが単元ゴールの 「じどう車ブック」を書くことにつな がることをおさえる。
- ックを書いていくために、次時から は、車の「しごと」と「つくり」の書 き方を学習していくことをおさえる。

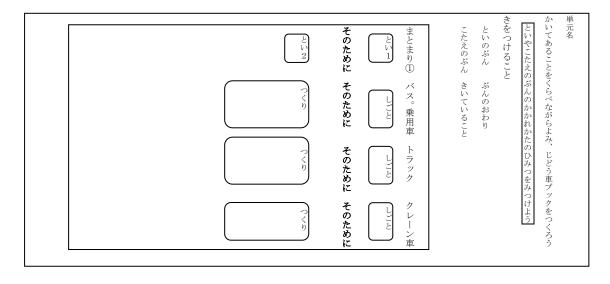
#### (4) 板書計画

ま

لح

8 る

10 分



|○どん; 深 | ・パ め | る |

- ○どんな自動車を知っていますか。
  - ・パトカー ・救急車 ・消防車 ・バス
- 28 それぞれの自動車についている特別なものは何です 分 か。
  - サイレン ・赤いライト ・ホース
  - 大きいタイヤ
  - 5 言語活動への見通しをもたせる。
  - ○今まで、「どうぶつクイズ」や「みいつけたカード」 を作ってきました。作るときに、どんなことに気を 付けてきましたか。
    - 問いのあとに答えを書くこと。
    - ・問いに合った答えを書くこと。
    - 絵もあるとわかりやすい。

- ○「じどう車くらべ」を読みます。
- ま 6 これからの学習への思いを書く。
  - ○シートに、「じどう車ブック」を作っていくときに、 がんばりたいことや楽しみなこと、心配なことを書 きましょう。
  - 7 学習について振り返る。
- 108 次時の予告

分

لح

8

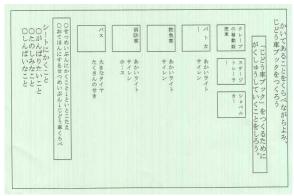
る

- 家庭にはない自動車を挙げさせることで、 「つくり」についても見つけやすいように する。
- ・自動車の写真を掲示し、詳しくない児童も 思い出すことができようにする。
- ・それぞれの自動車の写真の下に、ついているものを板書し、「つくり」がとらえやすいようにする。
- ・作るために学習材を読み取ってきたことや 完成するまで苦労したことなどを想起する と思われるが、出来上がったときの喜びや 読んでくれた人に褒められたことも思い起 こさせたい。
  - ・既習の言語活動の掲示や作ったものも用い、問いと答えが必ずあることを確かめ、 学習したことが使えるという見通しをもたせる。

○せつめいぶんにかくこと

- ・といのあとにこたえ
- ・といにあったこたえ
- ・え
- ・「じどう車ブック」作るときに、大変役に 立ったことを知らせ、中心学習材「じどう 車くらべ」に書いてあることに関心を向け させる。
- ・教師の範読のあと、一斉読み。
- ・児童の読みは、1ページずつ区切って読み、「しごと」と「つくり」のまとまりへの意識につなげる。
- ◎「じどう車ブック」を作ることに関心をもち、これからの学習について、自分の思いをシートに書いている。 (シート)
- ・書く観点を板書に示し、学習したことを振り返らせ、「じどう車ブック」を書きたい、 書けるようになりたいという意欲を次時に つなげる。

#### (4)板書計画



## 本単元の学習指導一覧表

## 単元名

かいてあることをくらべながらよみ、じどう車ブックをつくろう

## 中心学習材 じどう車くらべ

目標:説明されている「しごと」と「つくり」の関係や文章構成上の順序について確かめながら、内容の大体を読むことができる。 〈読むこと イ〉

### 段階

単元全体のめあて

をつかみ、学習計

見通す

画を知る。

#### 主な学習活動

に関心をもつ。

# ① 単元のゴールの姿を知り、既習の説明文の言語活動 |

を想起することを通して、「じどう車ブック」を作ること

② 全文を読み、単元名や題名から、バスやじょうよ う車、トラックについて書かれているということ をとらえる。新出漢字や初出の言葉の学習をする。

#### 評 価

- ① これからの学習について、自分の思いをシート に書いている。(関:発言・シート)
- ②「じどう車ブック」を作るために、バスやじょ うよう車、トラック、クレーン車について学習 していくということをとらえている。

(関:観察・発言)

## ○読みの方法

■補助学習材

〇問いと答え ○さし絵

○書いてある事柄

## 深める

目的に沿って中 心学習材を読み 取る。

- ③既習の説明文の書き方と比較しながら、問いと答えの | 文を見つける。読み取りの際に着目していく「しごと」と 「つくり」の文の並び方をとらえる。
- ④バスやじょうよう車は、人を乗せて運ぶ「しごと」 に合った「つくり」になっていること、トラックは、 荷物を運ぶ「しごと」に合った「つくり」になって いることをとらえる。
- ⑤クレーン車について、バスやじょうよう車、トラッ∥⑤クレーン車について、バスやじょうよう車、ト クのときと比べながら、どんな「しごと」や「つく り」になっているかをとらえる。

③問いと答えの文があり、バスやじょうよう車、トラッ ク、クレーン車の答えが「しごと」「そのために」「つ くり」の並びで書かれていることが分かる。

(読:観察・シート)

④バスやじょうよう車とトラックの「しごと」と 「つくり」を比較することで、何を運ぶか「し ごと」によって「つくり」が異なっていること をとらえている。

(読:観察・シート)

ラックで学習したときの書き方を参考にしな がら「しごと」「つくり」の関係を確かめ、自 力でシートに書いている。

(観察・シート)

〇問いと答えのつながり ○接続語「そのために」 ○さし絵

○書いてある事柄の順序 「しごと」「つくり」 ○主語と述語のつながり

#### 広める

学んだことを生 かし、説明文を 書く。

- ⑥救急車について、補助学習材を使い、「しごと」と「つ | くり」の文を自力で完成させる。
- ⑦はしご車の「しごと」と「つくり」について、絵と 箇条書きに書かれたものを基に、説明文を完成させ る。
- ⑧ ⑨ 自分で決めた自動車について、絵と簡条書きに書 かれたものを基に「しごと」と「つくり」を対応さ せながら説明文を書く。学級で発表し合い友達と交
- ⑥今まで学習した文章表現をふり返りながら、救 急車について「しごと」と「つくり」の文を自 分で書いている。 (読:観察・シート)
- ⑦はしご車の「しごと」と「つくり」について、 説明する文を書いている。

(読:観察・シート)

⑧⑨「しごと」と「つくり」を対応させながら 説明文を書いている。(読:シート) 自分が書いたものを友達と交流する。

(読:発言)

〇問いと答えのつながり 〇接続語「そのために」 ○さし絵

「しごと」「つくり」 〇主語と述語のつながり

○書いてある事柄の順序

- 救急車について書かれた 文章
- はしご車について書かれ た文章
- はたらく自動車ずかん

まとめる 学習の振り返りを する。

- ⑩単元の振り返りをする。じどう車ブックを6年生に 読んでもらい、学習の成果を確かめる。
- ⑩学習をふり返り、よくできたところや難しかっ たところなどを確かめている。

(読:発言・シート)

## ゴールに据える言語活動

【言語活動】事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと 【様式】説明文「じどう車ブック」 【言語能力】説明文を読み、自分が紹介したい事物について選んだ情報をもとに、事例に沿って説明する文を書く。6年生に感想をもらう。 【要素】じどう車の名前、「しごと」「つくり」